

JR東労組
大宮
2024年2月18日 第278号

〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町630
電話 048-643-6655 FAX 048-631-1441
JRTEL 054-5844-5 JRFAX 054-5846
email: omiva-chihon@ireu-omiva.jp
発行人 川澄新一 編集人 小宮裕幸

JR東労組大宮地本の
ホームページは
←こちらからアクセス

東日本旅客鉄道労働組合 大宮地方本部

2024大宮地本旗開きを開催!

2024年1月13日
さいたま市文化センター



24JR総連春闘勝利!!この年のたたかいで組織強化・拡大を勝ち取るう!!

主催者あいさつ(要旨) 大宮地本・川澄執行委員長

2024年は1日の能登半島地震、2日は航空機衝突事故、そして3日には山手線内で刃物で切りつけられる事象と、同日あまり日本では報道されませんがイランでは無差別テロにより100名近い人が亡くなっています。ウクライナやイスラエルに続いて世界中で戦争はおさまるところか、さらに拡大していく状況となっている中、あらためて私たちの平和運動が問われています。このように激動で幕をあげた2024年ですが、この状況を見ると『命』ということが問われる年になるのではないかと感じています。すると我々が労働組合として、どう命を守るのかが問われます。会社は安全計画2028で『想定外を想像する』としていますが、ではこの1日から起きているようなことが皆さんの職場で起きたときにどうなるのか。お客様、そして社員の死亡者や負傷者を防ぐ事ができるのか。想像してみてください。しかし、想像しているだけでは事故・事象は防げません。防ぐ場合には、対策を打ち立てなければなりません。それには人や物、場合によっては金も必要になります。それを我々が『創造』して、会社に対して具体的に求めていかなければなりません。コロナ禍の赤字から『稼ぐ』が第一になるあまり、安全を『言葉だけの第一』にしてはいけません。これまで創り上げてきたJR東労組の安全文化から、私たちの提言を具体的に示し実現できるだけの力を、東労組大宮地本がつけていくことが今年の大きな課題です。

2024年、私たちが直面している課題は非常に多くあります。今年は大きな基地再編も控えています。ここで問われるのは、私たち一人ひとりの飛躍です。それ抜きに2024年は、たたかい切れません。当該職場だけの取り組みにすることなく、大宮地本全体として組織の強化・拡大という目的を明確にして実践していきましょう。

宇都宮運輸区のパワハラ労災は「新たな段階に入ったと言われている」。会社による懲罰的日勤教育によって自殺を考えるところまで追い込まれ、いまも職場復帰できていない仲間を宇都宮運輸区を中心に支えていただき、そのたたかいを全国へ広げていただいています。大宮地本全体のたたかいとして、職場復帰まであらゆる手段でたたかい抜きます。

職場では、ジョブ異動による納得感が得られずモチベーションが大きく低下する異動が続いています。これは、経営能力の

低下だと言わざるを得ません。そうでなければ「会社の言う事は黙って聞け」という官僚体質のあらわれです。そのような中で我々は、単に「反対」というだけではなく、施策のどこに問題があるのか、少子化と人口減少という取り巻く状況も踏まえた中で、我々がどうしていくかが問われています。しかし一方で、反対しなければならぬものには堂々と反対していきます。そのためにも、施策検証会議なども通じ議論を積み上げて、会社に提言していかなければなりません。

また、組合脱退のための不当労働行為も明らかになっています。このような東労組破壊を通じた、オール社員化で会社の思いのままに利用されるような働き方に抗して、私たちはたたかいを創り出していきます。

2024JR総連春闘について、基調報告で細かく提起いたしますが、あらためて前提として私たちの賃金はたたかわない限り上がりません。それは私たちが生きているこの社会は資本主義社会であり、それは会社と労働者は対立を前提としているという社会の構造を見れば明らかです。だから、働くものに団結してたたかわれては賃金が上がってしまい困る人たちが、たたかわないように仕向けているといえます。そのような中で、私たちは断固として統一闘争として連帯するJR総連の仲間と共にたたかい抜きます。

大宮地本の1000名組織実現を通じて、JR東労組の1万人組織を確立するために、2024年も共にたたかいていきましょう。

東労組本部 申15号 2月16日提出

2024年度賃金引上げ等に関する申し入れを提出!

- ①2024年4月1日以降のJR東労組組合員・社員の
基本給を一律12,000円
(定期昇給を含まない)引き上げること。
- ②2024年4月1日以降のエルダー組合員・社員の
基本賃金を12,000円引き上げること。
- ③「労働条件に関する協約(令和3年10月1日締結)」第258条に基づき、
定期昇給を実施し、その場合の**昇給係数は「4」とし**
定期昇給を完全実施すること。
- ④2021年4月1日に実施した、満55歳未満(当時の)
組合員・社員に対する**定期昇給のカット分を**
別途支給すること。
- ⑤退職手当の算出基礎となる
「第二基本給制度」を凍結すること。
- ⑥**「65歳定年制」を導入**すること。
- ⑦回答日については、2024年3月13日までとすること。

全組合員のたたかいで満額回答を勝ち取るう!

	<h1>始 論</h1>
	<h1>点</h1>

10〜20cmの穴が生じる事故が発生している。出され帰宅している。その後、本人への聞き取りは3日後まで行われず、突然懲戒処分と強制転勤が発令された。これは会社による「無断帰宅」勤務命令違反」という偽りのストーリーありきで、十分な状況把握もせず重い処分が一方的に行われたものである。絶対に許すことはできない！大宮地本は2月8日に決起集会を

今年、年明けから激動の始まりとなった。1月1日に能登半島で震度7の地震が発生し多くの被害が出た。総連の仲間への被災支援カンパを取り組んでいる。今こそ仲間へ寄り添い、何が出来たかを考える必要がある。翌日には羽田空港で、日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機が衝突し、海上保安庁隊員5名が亡くなる痛ましい事故が発生した。1月23日にJR東日本においても上野〜大宮間の新幹線で架線垂下が発生し約12万人に影響した。更には復旧作業中に作業者が感電する2次災害の事故も発生している。垂下の原因として架線の張力を調整する重りを支える鉄製の棒が破断したとされ、同様の事故は2005年にも起きていた。2月1日には仙台〜古川駅間を走行中の新幹線で異音が発生し、前頭部カバーに傷と

安全軽視・人間軽視の会社姿勢に立ち向かい、安全で安心して働ける職場を創り出すため、今こそ東労組に結集し組織拡大を推し進めよう！

申請のたたかいを進めていく。また小金井運転区では、複数の管理者による東労組脱退を意図した不当労働行為を行っていた事も明らかになっている。まさに私たちが働くJR東日本は危機的状況である。会社の言う事に従わなければ処分や希望ではない異動が強行される不安感とミスをすればパワハラで支配される、かつての「福知山線脱線事故前夜」の様な命令と服従の職場風土がすぐそこまで迫っている。

今この状況を打開できるのは東労組しかない。なぜならこれらの現象は、18春闘の方針誤りによる大敗北により多くの組合員が脱退し、組織力が弱体化した中で発生しているからである。職場で発生する不安や不満を、個人や社友会では解決できない事はこの間の現象を見ても明らかである。もう一度、安全で安心して希望を持って働ける職場の確立に向け、東労組への結集を全組合員で呼びかけ、組織拡大を推し進めよう！そして未加入のみならず、私たちと共に声をあげ職場を良いものへ創り変えるため共に奮闘しよう！

そして今の会社は人間軽視の「ブラック企業」になりつつあるのではないか。大宮運転区では事実と異なる経過から一方的に懲戒処分と強制転勤が発令された。当該組合員は「休日出勤」を要請する前に乗務に回し、乗務中に架線垂下が発生し約12万人に影響した。更には復旧作業中に作業者が感電する2次災害の事故も発生している。垂下の原因として架線の張力を調整する重りを支える鉄製の棒が破断したとされ、同様の事故は2005年にも起きていた。2月1日には仙台〜古川駅間を走行中の新幹線で異音が発生し、前頭部カバーに傷と

宇都宮運輸区においては速度超過が発生させた組合員に対する懲罰的日勤教育により、自殺を考えるまで追い込まれた。パワハラ労災

2月期退職者

大変お疲れさまでした
(敬称略)

内田 均

さいたま運転区

高橋 正行

保全科

2月期退職者激励会(2月22日開催予定)の
写真は3月号に掲載します

宮総支部だより

宮総支部は1月12日に「2024大新年会」を支部OB会と合同で開催しました。コロナ禍以降、支部として約5年ぶりの大規模レクの開催となり、全体で現役・エルダ1・OBあわせて53名が参加しました。

今回、開催のきっかけとなったのは、OBの先輩から「みんなが集まれる場をつくってほしい」という一言からでした。支部執行部としても大規模レクの開催経験がコロナ禍で乏しくなり、徐々に手探りの準備となりました。特に支部OB会は奮闘し、OB組合員の近況連絡含めて出欠確認を全組合員貫徹しました。

参加者からは「久々に顔を見られてよかった」「エルダー終わると集まる機会が少ないので続けて欲しい」「現役が頑張っている姿を見て元気を貰えた」「先輩方の顔を見られて良かった」と多くの言葉が返ってきた。宮総支部は引き続きレクなどを通じて縦と横のつながりを大事にし、24春闘勝利と組織強化・拡大を目指します！



今年も各支部・分会で創意工夫し、盛大に旗開きを開催!! 24春闘勝利に向けて全職場からたたかいを創り出そう!!



旗開きに多くの仲間が結集!
職場の声を基軸に春の
たたかいを推し進め、
組織強化・拡大を実現しよう!!



私たちに今こそ満額回答が必要だ!! 職場の努力に報いない経営姿勢を打ち破り、24春闘勝利に向けてたたかおう!!



総対話・メッセージ行動
等、各職場で展開中!
歴史的物価高と過去最
高の働き度の下、仲間
の切実な声が数多く寄
せられています!

**厳しい労働実感・生活実感の一方で、
業績は順調に回復しています!!**



さらに今年の家計負担は1人当
たり2.9万円も増加見込み!!

実質賃金は前年比2.5%も
減少し、プラスにするには
3.6%以上のベアが必要!
23年度の家計負担は2年
前より約20万円も上昇!

一方、会社業績は2739億円もの増収
を達成し、第3四半期決算も増収増益!
業績予想を上方修正し株主配当も増額!



業績は順調に回復!!

支払い能力は十分にある! 私たちのたたかいで満額回答を勝ち取ろう!

2024大宮地本春闘総決起集会

日時: 2024年3月5日(火)18:30
場所: 市民会館おおみや ReiBoc Hall
小ホール・第1集会室
【大宮駅東口】

小山市立生涯学習センター ホール
【小山駅西口 ロブレ6階】

※分散開催のリモート会場
(勤務の都合で間に合わない方を対象)

**最大限の結集で集会を創り出し、
私たちの苦闘を力として示そう!**



❖ 私たちは懲戒権の濫用と不当処分を絶対に許さない!! ❖ 事実と反する不当処分を撤回し、安心して働ける職場の実現を求め共にたたかおう!!

1月19日、大宮運転区で管理者から承諾を受け帰宅した事象に対し、「業務を指示されていたにもかかわらず、管理者の承認を得ずに無断で帰宅した」ことを理由として、組合員に「戒告」の懲戒処分と営業統括センターへの異動が事前通知されました。



大宮運転区で発生した不当処分・不当転勤の時系列

12月22日 組合員は突発のための休日出勤の依頼を受ける。

12月23日 休日出勤のため9時前に職場に到着する、変形が3名いることに気が付く。

組合員：変形がいるのに休日出勤はおかしいですよ。

管理者：業研があるからね。

組合員：数日前は変形を剥がしてましたよね。おかしいですよ。それなら休日出勤の意味がないので帰ります。

*フロアを立ち去ると、ロッカーまで管理者がついてくる。

12月26日 区長からの事情聴取が行われる

区長からの説明

・前日、休日出勤のやり取りで快諾したという段階で一旦勤務指定となる、業務指示ができていない

組合員の意見

・そのまま帰ると**業務指示違反になるという説明はなかった**

・管理者から「代わりの乗務員を探せ」と言われたので承諾を得たと思い帰宅した

・区長から「**ちょっと説明が足りなかった**」と言われたが、**全く足りない!**

1月19日 区長から「戒告」処分と「営業統括センター」へ異動の発令通知手交

・処分の理由は「業務を指示されていたにもかかわらず管理者の承諾を得ずに無断で帰宅した事は社員として著しく不都合な行為」であるため

・異動の理由は「就業規則に反する行為をしている事。一人で仕事をする乗務員は任せられない」

・区長から「**ちょっと説明が足りなかった**」と言われたが、**全く足りない!**

「乗務員を任せられない」と言う理由での異動は二重の処分だ!!

管理者：どうしてもダメか？代わりの人を探すことになってしまうからさ。

組合員：今日は、私は帰ります。

管理者：わかった。(←帰宅することを認めている。)

真実はこれだ!



☺**当時、他の管理者から当該組合員に寄り添う温かい言葉の数々...**

- ・迷惑かけていたことに対する謝罪。それと直向きな管理者の問題であること。
- ・支社にも話が行っているがこっち(管理者側)に問題がある。
- ・区長から何か聞かれるかもしれないが気にしないで。

安心して...

嘘のシナリオで「処分」を正当化!?

- ◆管理者の承諾を得ずに「無断で帰宅した」
- ◆当該組合員に管理者がロッカーをいったん離れる前に「もう一回話そう」と伝え、管理者が戻ると(組合員が)興奮して帰ってしまった。

このような事実はない!



嘘で処分を正当化して責任転嫁し、事実と反する掲示により「職場規律」を問題とする会社姿勢の行きつく先は、業務指示の徹底された「命令と服従の職場」であり、絶対に認められない!

真実を広め問題意識を共有して、不当処分撤回と安心して働ける職場環境を求めてたたかおう!

カンテラ

年初から大地震や大事故と目を覆う現実から波乱の年明けになった。

この社会は本当に安心して暮らせる社会なのであるうか?「自分に危害がないから」と他人事にせず、生活に苦しむ人々へ思いを馳せて行動しよう。

会社の業績は回復傾向にあるが、賃金に反映されない不満が多く出た。懸命に施策を担うからこそ、生活実感、労働実感から賃上げは切なる要求だ。

一方、職場では労務管理強化が露骨だ。休日出勤に疑義を申し立て、管理者からその理解を示されたにも関わらず、「無断で帰宅した」と不当な懲戒処分が発令された。事実を捻じ曲げ処分を強行する会社姿勢は許されない。

こうした現実を変えるのは労働組合としての責務である。理不尽と不条理に立ち向かい、圧制に抗して、だまされず、あきらめず、仲間と共にたたかい抜こう!

(K.O)

無料



法律相談

□3月12日(火)

□13:30~15:00

**場所：大宮地本
会議室**

相談日の5日前までに、地本又は各支部へ連絡して下さい。

お気軽に相談を!

2024春闘 アンケート実施中!!

厳しい労働実感・生活実感の中、職場で努力している私たちの「本音の声」を本部に届けよう!!



QRコードはアンソウウェブの登録商標です



アンケートは東労組HPのバナーもしくは左のQRコードから

「2024新年お年玉クイズ」抽選を実施!!

答え：こうどう

応募総数

1461名!

たくさんのご応募を頂き、ありがとうございました!



当選者は後日「OMIYA NEWS」にて発表します。